



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6294 URL <http://www.aiyon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門担当 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,391	14.7	1,525	38.0	1,648	41.1	1,105	40.7
2023年3月期第2四半期	11,680	16.1	1,105	8.1	1,168	13.9	785	19.0

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 1,259百万円（11.8%） 2023年3月期第2四半期 1,126百万円（47.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	137.78	137.18
2023年3月期第2四半期	97.97	97.53

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	32,990	14,922	45.2	1,856.06
2023年3月期	30,594	13,961	45.6	1,736.90

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 14,897百万円 2023年3月期 13,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	12.4	2,650	34.9	2,650	35.1	1,730	22.3	215.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,378,700株	2023年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	352,047株	2023年3月期	354,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,025,203株	2023年3月期2Q	8,019,285株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染に関する行動制限の緩和により経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや、インフレに伴う欧米の高金利政策の継続などにより、依然として、先行きの景気不透明感が続いています。

このような環境のもと、当社グループは長期ビジョン「VISION30」の方針のもと、国内では足許の堅調な解体・インフラ工事需要に対応した増産と生産性向上を軸にした生産体制強化を注力課題として取組み、開拓余力の大きな海外では拠点展開している米国・欧州・アジアでの営業体制強化を図るなど、更なる持続的成長と企業価値向上に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高13,391百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益1,525百万円（前年同期比38.0%増）、経常利益1,648百万円（前年同期比41.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,105百万円（前年同期比40.7%増）となり、第2四半期連結累計期間の最高売上・最高利益を更新いたしました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、引き続き解体環境アタッチメントを中心に高水準の受注残を維持しており、増産や商材の確保に注力してきた結果、売上高9,891百万円（前年同期比6.6%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発やビル・工場等の建替等による解体需要が引き続き堅調で売上高4,142百万円（前年同期比9.1%増）、つかみ機も金属スクラップ処理や木造解体、災害復興等の需要が引き続き堅調で、売上高712百万円（前年同期比14.8%増）となりました。輸入商材の大型環境機械は円安による仕入価格の高騰などもあり販売に苦戦したものの売上高230百万円（前年同期比54.1%増）と対前年比では売上を伸ばすことができました。また、グループ連携による販売強化を進めている林業機械は、一昨年投入した「ハイブリッドバケット」の販売が好調で売上高882百万円（前年同期比54.5%増）となりました。

一方、ケーブルクレーン事業は再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事などは引き続き順調に推移していますが、前年同期では大型案件のダム工事売上が計上されていたことなどもあり売上高773百万円（前年同期比37.4%減）と減収となりました。油圧ブレーカも売上高442百万円（前年同期比11.2%減）となりました。アフタービジネスに関しては、原材料売上991百万円（前年同期比4.1%増）、修理売上高505百万円（前年同期比8.3%増）と底堅い伸びとなりました。その結果、セグメント利益は鋼材価格の上昇等による利益圧迫要因などがあったものの、販売価格の値上げ効果や増収が寄与し、1,009百万円（前年同期比15.8%増）と増益となりました。

海外セグメントは、売上高3,500百万円（前年同期比46.0%増）となりました。主力地域の北米では順調に経済活動が推移する中、子会社Okada America, Inc. では販売が順調に推移するとともに、昨年末に経営統合したOkada Midwest, Inc. の売上が寄与した結果、売上高2,491百万円（前年同期比79.5%増）となりました。欧州は昨年後半からの需要の減速影響を受けつつも売上高579百万円（前年同期比2.9%増）と微増となりました。一方でアジア地域は台湾を除いて市場全体の需要減の影響もあり売上高291百万円（前年同期比4.4%減）となりました。セグメント利益に関しては、Okada Midwest, Inc. 取得時の「のれん」の償却費などが発生したものの、北米の増収影響が大きく516百万円（前年同期比99.1%増）と順調に増益を確保いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、32,990百万円（前連結会計年度末30,594百万円）となり2,395百万円増加しました。建設仮勘定が827百万円減少しましたが、建物及び構築物が1,093百万円、商品及び製品が830百万円、現金及び預金が481百万円、土地が267百万円、それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、18,067百万円（前連結会計年度末16,633百万円）となり1,434百万円増加しました。流動負債のその他が490百万円、長期借入金が361百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が1,571百万円、支払手形及び買掛金が584百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、14,922百万円（前連結会計年度末13,961百万円）となり961百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払304百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益1,105百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正を行っております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,124,222	3,606,139
受取手形及び売掛金	5,807,704	5,860,997
商品及び製品	6,328,916	7,159,163
仕掛品	407,421	461,555
原材料及び貯蔵品	4,403,763	4,628,022
その他	546,585	769,229
貸倒引当金	△3,131	△2,431
流動資産合計	20,615,484	22,482,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,405,253	4,498,730
機械装置及び運搬具(純額)	508,973	491,877
土地	3,092,121	3,359,487
建設仮勘定	879,824	52,590
リース資産(純額)	301,142	303,599
その他(純額)	44,186	60,370
有形固定資産合計	8,231,501	8,766,655
無形固定資産		
のれん	192,428	186,785
その他	469,569	424,969
無形固定資産合計	661,997	611,754
投資その他の資産		
投資有価証券	361,600	394,572
長期貸付金	230,000	230,000
繰延税金資産	397,873	400,654
その他	99,320	107,252
貸倒引当金	△3,273	△3,273
投資その他の資産合計	1,085,521	1,129,206
固定資産合計	9,979,021	10,507,616
資産合計	30,594,505	32,990,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,246,448	4,831,319
短期借入金	6,589,278	8,161,130
1年内返済予定の長期借入金	722,348	722,348
未払法人税等	345,407	587,445
賞与引当金	274,077	284,594
役員賞与引当金	69,780	1,800
株主優待引当金	43,195	3,833
その他	1,615,498	1,125,253
流動負債合計	13,906,033	15,717,724
固定負債		
長期借入金	1,980,320	1,619,146
退職給付に係る負債	553,509	571,778
その他	193,538	159,122
固定負債合計	2,727,367	2,350,047
負債合計	16,633,400	18,067,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,280,478	2,285,103
利益剰余金	9,244,177	10,044,974
自己株式	△236,885	△234,951
株主資本合計	13,508,893	14,316,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,103	118,702
繰延ヘッジ損益	9,761	14,627
為替換算調整勘定	319,735	448,330
その他の包括利益累計額合計	427,600	581,660
新株予約権	24,610	24,610
純資産合計	13,961,104	14,922,520
負債純資産合計	30,594,505	32,990,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,680,530	13,391,755
売上原価	8,332,588	9,351,525
売上総利益	3,347,942	4,040,230
販売費及び一般管理費	2,242,574	2,514,605
営業利益	1,105,367	1,525,624
営業外収益		
受取利息	2,875	1,953
受取配当金	6,773	6,456
固定資産売却益	4,246	21,681
貸倒引当金戻入額	—	699
為替差益	74,529	187,195
持分法による投資利益	4,351	1,633
その他	21,055	22,830
営業外収益合計	113,832	242,450
営業外費用		
支払利息	23,182	69,261
固定資産除売却損	1,950	2,925
債権売却損	3,880	3,802
デリバティブ評価損	21,515	33,786
その他	12	9,466
営業外費用合計	50,541	119,242
経常利益	1,168,658	1,648,833
特別利益		
固定資産売却益	114,163	—
特別利益合計	114,163	—
税金等調整前四半期純利益	1,282,821	1,648,833
法人税等	497,162	543,133
四半期純利益	785,659	1,105,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	785,659	1,105,699

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	785,659	1,105,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,128	20,598
繰延ヘッジ損益	23,257	4,865
為替換算調整勘定	348,788	128,594
その他の包括利益合計	340,917	154,059
四半期包括利益	1,126,577	1,259,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126,577	1,259,758
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,283,180	2,397,350	11,680,530	—	11,680,530
セグメント間の内部売上高又は 振替高	312,045	6,945	318,990	△318,990	—
計	9,595,226	2,404,295	11,999,521	△318,990	11,680,530
セグメント利益	872,159	259,615	1,131,774	△26,407	1,105,367

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△26,407千円の内訳は、のれんの償却額△20,946千円、セグメント間取引消去△5,460千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,891,538	3,500,217	13,391,755	—	13,391,755
セグメント間の内部売上高又は 振替高	325,034	12,189	337,223	△337,223	—
計	10,216,573	3,512,406	13,728,979	△337,223	13,391,755
セグメント利益	1,009,647	516,941	1,526,588	△963	1,525,624

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△963千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。